



新元号を迎えて

同窓会会長 松 永 満佐子



同窓会会員の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。

時代は平成から令和へと移り変わりました。新元号に変わる瞬間をどのように過ごされたでしょうか。新しい時代の幕開けにあたり、ご挨拶申し上げます。

大勢の方が5月1日に関心を持たれたのではないのでしょうか。私もその日の新元号に関する新聞の特集を心待ちにしていました。「令和」の典拠となったのは大伴旅人が詠んだ『万葉集』巻五、梅花の歌三十二首の序文「初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」であることを発表後のニュースで知り、とても興味深いことだと思ったからです。徳島新聞朝刊によると、「令」は「清らかで美しい」を、「和」は「まるくまとまる」を意味しているとのこと。 「令和」を深読みすることで、『万葉集』が編まれた時代の背景を知ることができ、

歌集は当時の文化や暮らしを通して歌を詠むことの楽しさを教えてくれました。

同窓会活動において「和」に関わる記憶が甦ってきました。昭和56年に母校が開学20周年記念式典を挙行了たのを契機として、同窓会活動の活性化が進んでいたこのことです。沖縄支部結成を皮切りに、57年には高知、香川、徳島、愛媛支部、58年には山口、広島、福岡、鳥取・島根、関東、岡山支部、59年には近畿支部、60年には中部支部が結成されました。57年には同窓会会報創刊号を発刊しています。その後、平成6年には東北支部を結成、16年には福岡を北九州と南九州に分け、現在の15支部に至っています。当時、短期間にもかかわらずこれらの事業を達成できたのは、同窓会員皆様の支援と協力の賜物であるといえます。支部結成に携わった準備委員の皆様をはじめ支部役員、顧問の先生方、本部役員、幹事、そのご家族など多くの人達の「和」の力によって実現できた功績です。相互の親睦の「和」が強化されていく様子が見てとれます。

昭和、平成、令和と時代は流れ、同窓会組織は発足から数えて半世紀を超えました。今まさに新しい風が吹こうとしています。長い歴史に思いをはせ、今を見つめ、伝統を守りつつ未来の発展に向けて前進するときです。

「令和」の英訳である“Beautiful Harmony (美しい調和)”を受け、同窓会が美しい青春を懐かしみ、ますます交流の輪を広げる場所になることを期待し、新時代も平和であることを祈念します。



目次

会長挨拶	1
副理事長就任挨拶	2
学生・教職員の活動	3
イベント・コンテスト案内	5
退職によせて	6
卒業生だより	10
支部だより	12
各支部会費払込先一覧	14
Information	16

副理事長就任挨拶



副理事長就任あいさつ

副理事長 山本 光 憲

同窓生の皆さん、はじめまして。平成31年4月1日付けで学校法人四国大学の副理事長を拝命した山本です。地方の私学をとりまく環境はますます厳しさを増しておりますが、困難な時代に負けない、明るく強く元気な大学を目指して重責を果たしたい所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

冒頭で、「はじめまして」と申しましたが、若干の違和感があります。私は本学に入職してから四半世紀になりますので、多くの同窓生とのつながりがあります。それでも、学園が高等教育機関として短期大学を開学したのが昭和36年、その前身である徳島洋服学校の創設となると大正14年まで遡り、同窓生は優に5万人を超えておりますので、感覚的には「はじめまして」となるわけです。

さて、同窓生の皆さん、母校を訪れたのは今から何年前になりますか？直近だと、今年の4月、スポーツ・健康分野の拠点として華々しくオープンした「スポーツ健康館」の竣工式典でお目にかかった方もいるかもしれません。いやいや、私は10年前ですよ、20年前ですよ、はたまた卒業以来一度も訪れたことがない！という方もいるかもしれません。

「実は私、四国女子短期大学時代の卒業生なんです。何

十年ぶりかに来てみたらすごく綺麗になってビックリ！」過日、営業で来学された同窓生の言葉です。本学のシンボルタワーの中央棟は、キャンパス名物ともいえる川風の渦の中に屹立し、陽が落ちるとLEDで輝く大学名がかなり遠くからでも見ることができます。平成28年には、音楽と美術造形の複合施設である芸術館も完成し、女子大学・女子短期大学時代の同窓生の方は、その大きな変貌振りに驚かれるかもしれません。また、先進的地域貢献大学として地域教育にも力を入れており、学生たちは各地域で元気に活動しています。

しかしながら、本学の認知度は全国的には、まだまだ低いのが実情です。今後、本学はブランド力の向上に資する取組に一層尽力して参りますが、新しい令和の時代を迎え、地域で躍動する本学の姿を全国の皆さんにお届けするためにも、同窓生の皆さんからのお力添えをいただければ幸いです。

四国大学・四国大学短期大学部は、令和3年に高等教育機関創設60年、令和7年には学園創立100年の節目を迎えることとなります。こうした機会に是非、新しい本学に触れていただけたらと思います。同窓生の皆さんの来学を心よりお待ちしております。

卒業生アンケート調査協力をお願い

四国大学・四国大学短期大学部

学長 松重和美

四国大学ならびに四国大学短期大学部では、本学の教育およびキャリア支援の改革・改善をはかるための教学IR*の一環として、卒業後満5年を迎えた卒業生全員（今回は平成25年度卒業生）の方を対象としたアンケート調査を継続的に実施することといたしました。本調査結果は、本学が加盟する「大学IRコンソーシアム」が全加盟大学に対して行う調査と一緒に集計され、他大学との比較等によって、本学の状況を知る客観的な資料ともなります。

該当年度の卒業生の皆様には、今年度10月から11月にかけてアンケート用紙を送付させていただきます。お手元に届きましたら、ぜひご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

なお、卒業生アンケート調査は無記名により実施するとともに調査結果は個人が特定できない形式の統計資料として前述の目的にのみ用いることを申し添えます。また、調査結果については本学HPにて公表いたします。

*IR(Institutional Research)とは、教育、経営、財務情報等、大学内の様々な情報を収集、整理、分析することにより、大学経営や教育・学生支援の点検、改善に活用する活動を指します。

【問い合わせ先】

四国大学 教育・学生支援部 教育支援課IR推進室
Tel:088-665-9922 FAX:088-665-9932

【受付時間】

月曜日～金曜日 9時～17時30分
(大学で定める休業日を除く)

学生・教職員の活動

書道文化学科の学生が起業 「art studio NAOMI」

書道文化学科2年 松岡尚海・半田隆翔

書道文化学科の学生として過ごす中で、書道を活かした進路が非常に少ないことに問題を感じました。そこで、『書』を職業として認知してもらいたいという思いから2人で起業を目標に「art studio NAOMI」を立ち上げ、様々な活動を始めました。

その内容は、書道Tシャツの販売、イベントなどでのオーダーメイドTシャツの制作、YouTubeチャンネルの運営です。このほかにも「様々な企業の社長さんに会いに行く」、「今年度の冬休みに海外へ行き、『書』だけでそこの生活費や帰りの渡航費を稼ぐ」という計画もしています。今は、海外への渡航資金を得るために毎週金曜日19時から徳島市の鷹匠町にある「阿波横丁」で『ながし書道』と銘打って、お店にきているお客様からリクエストいただいた言葉をその場で色



紙に揮毫し、お客様の希望価格で販売しています。

書道を学ぶ学生として、これから書道を学ぶ学生の指針となり、書道の新しい在り方を確立させていきたいと考えています。まだまだ手探りの状態で未熟な私たちではありますが、応援いただけると幸いです。



Twitter



ホームページ



Instagram

人とサル共生プロジェクト

～木頭ゆずちぎり隊～が商品化した

「ゆずマーメイドジャム」販売



四国大学学生ボランティア活動支援室・木頭ゆずクラスター協議会・那賀町地域おこし協力隊共催による「人とサル共生プロジェクト～木頭ゆずちぎり隊～」は、「キャリア形成実践科目」の受講生と学生ボランティア、指導教員をメンバーに平成26年に活動を開始しました。この活動は、過疎高齢地域のゆず農家の支援、そして収穫後の取り残されたゆずを狙って山から里におりてくる鳥獣被害対策として行われています。

活動開始から3年目には、旧木頭村のサルの餌場となっているゆず畑で、ゆずの完全収穫・古木の伐採を行い、サルが里山においてこない環境づくりを行いました。平成30年には、収穫したゆずのジャム作りに挑戦し、人とサル共生の理念が込められた「Yuzu Marmalade」の商品化にこぎつきました。販売で得た利益は、今後のボランティア活動の資金となる予定です。



【問い合わせ先】
文学部国際文化学科
准教授 フェネリー・マーク
Tel.088-665-9629

人間健康科 食物栄養専攻

ジビエ(シカ挽肉) メニュー開発



徳島県では野生鳥獣による農林水産業への被害が増加し、防護柵や加害鳥獣の捕獲などの対策が行われており、捕獲した鳥獣を有効活用することにより“地域が美しく栄えてほしい”との気持ちを込めて「阿波地美米(あわじびえ)」と名付けてジビエ料理の普及と消費拡大に取り組んでいます。

短期大学部 人間健康科食物栄養専攻では、徳島県からの受託事業「平成30年度ふるさと農山漁村応援事業」として、学生がシカ挽肉を利用したレシピ作りに取り組みました。開発したレシピはレシピ集「阿波地美米レシピ」としてまとめ、グランヴィリオホテル徳島において開催された第5回日本ジビエサミットおよび阿波地美米フェスタで配布しました。

さらに、レシピの一つである「キーマカレー」が、株式会社さわかきとの連携によりレトルト「阿波地美米キーマカレー」として商品化され、徳島市の水際公園周辺で開催されている「トモニSunSunマーケット」で、販売を開始しました。今後は、「徳島新鮮なとく市」で販売されます。学生が開発した商品が徳島県の特産品として認知され、皆様に愛されるものになってほしいと願っています。



学生・教職員の活動

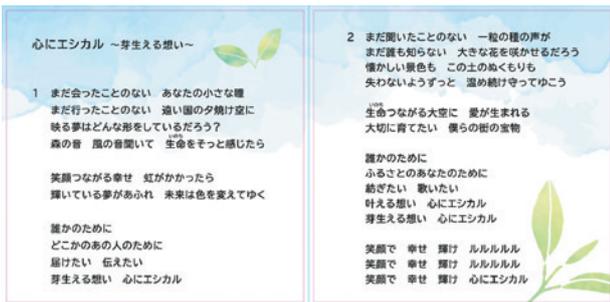
エシカルソング

『心にエシカル～芽生える想い～』完成！



令和元年5月、四国大学エシカルソングプロジェクトとして、持続可能な地域づくりと誰ひとり取り残さない未来社会の実現を願い、短期大学部ビジネス・コミュニケーション科

加渡いづみ教授作詞、本学卒業生でシンガーソングライターの福富弥生さんが作曲・歌唱、音楽科が録音を担当し『心にエシカル～芽生える想い～』を制作しました。私たち一人ひとりの行動が、まだ会ったことのない遠い国の子どもたちの未来や行ったことのない緑豊かな大地とつながっているのを感じながら、故郷の未来を思い描く心豊かな作品となっています。四国大学の学生、教員、卒業生の力を結集させたエシカルソングを『令和』という新しい時代のスタートとともに徳島から全国に向けて発信していきます。



全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI『ウイニングイレブン』徳島県オンライン予選の開催

全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI『ウイニングイレブン』徳島県オンライン予選が平成31年4月に四国大学にて開催されました。e スポーツとはいわゆるテレビゲームのことで、既存のゲームと比べて競技性が高いため、アジア大会をはじめとする国際的なスポーツ大会でも正式競技となりつつある種目です。今後は、オリンピックの正式種目への採用も見込まれ、近年もっとも注目を集めているスポーツです。



今回は、いきいき茨城ゆめ国体(令和元年9月28日～10月8日)に出場する徳島県の代表を決定する県予選会を県および徳島 e スポーツ協会と共催しました。

徳島県はマチ★アソビに代表される若者文化に関する社会的な土壌に恵まれており、本学ではさらにこれに先んじて e スポーツに取り組むこととなりました。国内の大学において積極的に e スポーツに取り組む大学は大変稀であり、注目を集めています。2月に発足した徳島 e スポーツ協会には、メディア情報学科 辻岡卓准教授、学修支援センター 長瀬大助教が企画委員として参加しています。

今後は、県内での大会の運営や大会への選手の派遣等、e スポーツを通じて地域を盛り上げるために取り組んでいきたいと思っておりますので、ご注目ください。

短期大学部留学生3年コース

Let's protect the earth project 地球環境を守ろう

平成31年4月、四国大学短期大学部の留学生を中心に、「Let's protect the earth project 地球環境を守ろう」というプロジェクトが立ち上がりました。主な活動は、河川沿いや海岸の清掃活動です。活動のきっかけは、平成9年から3年間鳴門市の高校で勤務しながら海岸の清掃活動を行っていたサラ・オーフレットさんが今年3月に飛行機事故で亡くなったことを知った留学生たちが、彼女の意志を引き継ぎ、環境を守るための行動を起こそうと考えたものです。この取り組みは四国大学学生プロジェクト支援事業(学生GP)にも採択され、第1回目の活動が令和元年6月に実施されました。

当日は学生、教職員、地域の方々36名が四国大学前の吉野川に沿って清掃活動を行い、2時間かけてプラスチックごみやペットボトルなど約50袋を回収しました。この清掃活動は年数回の開催を予定しており、代表の短

期大学部ビジネス・コミュニケーション科2年ドウシャント・トマルさんは、

「次回は広報活動をしっかりを行い、より多くの参加者を募りたい」と目標を語っていました。同窓生の皆様の応援・ご協力をよろしくお願いいたします。



イベント・コンテスト案内

「四国大学青春川柳コンクール」 作品募集

今回で17回目を迎える「四国大学青春川柳コンクール」。「青春」をテーマに川柳を募集します。今、青春真っただ中の人、青春時代を懐かしむ人など、年齢に関係なくどなたでもご応募いただけます。

- 応募句数：自由(何句でも投句可)
- 応募方法：住所(学校名)・氏名・年齢をご記入のうえ、下記までご応募ください。
- 応募先：【郵送】〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1「四国大学文学部 青春川柳」宛
【FAX】088-665-8037
【E-mail】seisen@shikoku-u.ac.jp
- 応募締切：令和元年9月20日(金)
- 表彰式：令和元年11月上旬(入賞者に通知します)



人間健康科食物栄養専攻 高校生料理コンテストを開催

人間健康科食物栄養専攻では、高校生を対象とした「とくしまブランド de 簡単料理コンテスト2019」を開催します。今年度は、「なると金時を使ったバランスのとれたワンプレート朝ごはん」オリジナルレシピを募集します。

- 応募資格：高校生の個人またはグループ(1組3名まで)
- 応募締切：令和元年9月30日(月)必着
- 審査方法：一次審査(書類審査)、二次審査(実技・試食審査)
- 【二次審査について】
- 日時：令和元年11月24日(日)10時～(受付 9時30分)
- 場所：中央棟8階 調理・加工実習室(A818)



看護学部看護学科 10周年記念式典及び ホームカミングデーを開催



看護学部看護学科のこれまでの歩みの報告および10周年を記念し、この度『看護学部同窓会』を設立することとなりました。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時：令和元年11月9日(土)13時～15時
- 場所：全学共通・地域教育センター1階 B109講義室

文学部書道文化学科 臨池会総会と臨池書展を開催

臨池会(旧、書道コースと書道文化学科同窓会)による行事です。

総会当日は芳藍祭期間中です。小さいお子様連れのご参加も大歓迎です。また、恒例の行事「臨池書展」にもぜひご来場ください。

- 【臨池会総会】■日時：令和元年11月9日(土)11時～13時
■場所：文学館1階 F107講義室
- 【第40回臨池書展】■日時：令和元年12月14日(土)～15日(日)
■場所：徳島市シビックセンター3階



人間健康科食物栄養専攻 ホームカミングデーを開催

食物栄養専攻では卒業生のための交流会として、平成26年度から毎年ホームカミングデーを開催しています。恒例行事として、この再会を楽しみにしてくださる卒業生が増えており、卒業年度が異なる卒業生たちが集まり、近況報告や仕事の情報交換の場として活用されています。また、後輩へ向けて学生生活や就職活動に向けたアドバイス、求人情報を提供していただけるなど、今後に繋がる交流会となっております。

今年度も芳藍祭の最終日に開催します。午前中には四国大学同窓会総会も開催されています。ぜひ食栄ホームカミングデーにお越しいただき、懐かしい大学の雰囲気を感じてください。

- 日時：令和元年11月10日(日)13時～15時30分
- 場所：中央棟4階 A409講義室



生活科学部管理栄養士養成課程 ホームカミングデーを開催

管理栄養士養成課程では、芳藍祭期間中の11月10日(日)にホームカミングデーを開催いたします。

昨年は、互いの近況報告や情報交換、さらに大学院の紹介など、楽しく充実した時間をもち、親睦を深める機会となりました。

今年も、四国大学で最も眺めの良い最上階の部屋で、パウンドケーキが焼き上がる懐かしい匂いに包まれつつ、卒業生の皆様と管栄の先生方で交流を深めませんか。卒業生の皆様、是非四国大学にお立ち寄りください。

- 日時：令和元年11月10日(日)
13時～15時
- 場所：中央棟10階 A1021演習室



四国大学との縁

今春大学を退職してから、ほぼ6か月になる。退職して暇ができたなら論文を書きたいと思っていた。暇はできたが、未だに論文には取りかかれないでいる。小人閑居して何もしない現状だ。

ただ、四国大学との縁は当分切れそうもない。つい先日も、卒業生の一人が突然電話をくれ、退職は病気のためかと心配してくれた。病気といえば、元同僚と病院でばったり顔を合わせ、同病相憐れむこともあった。一般社会人向けのオープンカレッジから何度か誘われ、今秋から講座を担当することになった。大学時代の特別研究生が月1回、勉強のため拙宅を訪ねてくれることになった。

文学部 日本文学科 教授 田中 省造

以上は四国大学人との具体的なつながりが続いているケースだが、それだけでなく、四国大学のイベント等のニュースを耳にすると、やっぱり頑張っているなど、こちらまで少しくききした気分になる。これこそ、四国大学の縁というものではなかるうか。



退職効果で10kg痩身

四国大学に採用されたのは昭和53年4月、41年前のことです。管理栄養士養成課程主任の藤山和恵先生と東大同窓の元香川大学長 岡市友利先生との関係で「四国女子大学」助手を拝命しました。当時は藤山先生、木村先生、武市先生、久野先生の助手、助教授を務め、まもなく化学、有機化学、生化学、食品学などを講義しました。教養ゼミ、地球環境学でお会いした同窓生もいらっしやることと思います。

研究面では北灘、橘湾沿岸域でアサリ、シジミ、マガキを春先に毒化させている麻痺性貝毒研究を継続しました。ふぐ毒とほぼ同様の症状を引き起こす致死性食中毒を天然物化学の側面から調べ、国際条約で化学兵器とされるサキシトキシンの硫酸抱合体 gonyautoxin 5 の構造決定に世界に先駆けて成功しました。これらの成果を東大教授橋本周久先生、野口玉雄先生のご指導により「西日本の麻痺性貝毒に関する研究」にまとめ東京大学農学博士となりました。

国際協力事業団 JICA から魚介類の毒研究でタイ国へ派遣、農林水産省「貝毒対策事業」で約10年、サギノバレーミシガン州立大学交換教授、そして国際会議や調査研究でアジア、北米、アフリカ、ヨーロッパへ出かけました。この間、前 佐藤久子 理事長、現 佐藤一郎 理事長から数々の温かい研究支援のご配慮をい



短期大学部 人間健康科食物栄養専攻

教授 西尾 幸郎

ただきました。この場を借りて皆様にお礼を申し上げます。

平成19年はもう一つのライフワーク「微細藻エネルギー研究」に着手した思い出深い年です。当時食物栄養専攻の西尾研究室はB館にありました。1階に100L～1000Lの水槽を並べ有用微細藻の油生産性を試験していました。幸いこの分野で企業との共同研究が結ばれ数件の特許を取得・出願できました。新築されたA館の8階へ研究室が移動してからも麻痺性貝毒、有用微細藻の研究を退職するまで続けることができました。

食物栄養、管理栄養の同僚の方々、そして学部支援、総務、企画、経理、教育・学生支援、保健、施設の皆様に深く感謝いたします。さらに山本課長をはじめとした附属図書館の皆様には長くお世話になりました。館長の微力をお詫びするばかりです。最後に、平成30年1月の米子の出張入試でご一緒した故赤松教育支援課長のご遺志、四国大学の高等教育機関としての誇りを皆様と受け継いでいきたいと思ひます。





四国大学の思い出

短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科 教授 上田 喜博

私が四国女子短期大学（現四国大学）に奉職したのは昭和44年、時あたかも高度経済成長真只中の時期でした。それからちょうど半世紀、時間のあまりの速さにただただ驚くばかりです。そんな自分の足跡を少しフラッシュバックしてみたいと思います。

さて、私がお世話になった年は、8月に当時の理事長佐藤カツ先生がお亡くなりになり、9月に佐藤久子先生が新理事長に就任された大きな節目の年でもありました。

当時は社会全体が右肩上がり成長・発展しつつあった時期で、四国女子短期大学もこれからといういわば草創期でした。従って、キャンパスの教育環境は決して十分なものではなく、昭和42年に音楽館が、43年に体育館、44年には児童館・図書館が竣工し、キャンパスの整備が急ピッチで進んでおりました。

ところで、私が所属した家政経済専攻（現ビジネス・コミュニケーション科）は、昭和43年に認可・設置（定員50名）されたので、私は本専攻の1期生とともに歩んできたことになります。

当時の大学進学率は現在ほど高くはなく、学生数はおよそ1600名位だったと記憶していますが、4年制大学と短期大学の学生数の割合は、約2対8と短期大学の学生が圧倒的に多かった時代でした。

助手で採用された私は、当然研究室はなく、学生研究室の片隅に机とロッカーを置いて仕事をしていました。もちろん教室・研究室のエアコン等はなく、冬期はだるまストーブを囲んで学生たちと食事を共にし、会話したことがつい昨日のように思い出されます。

私がかかわった1期生は、今年でもう70歳になります。先日も、そんな1期生の一人から葉書をいただきました。彼女は非常に明るくコミュニケーション能力に秀でていましたが、進路のことで悩んでいたときに私と話をした

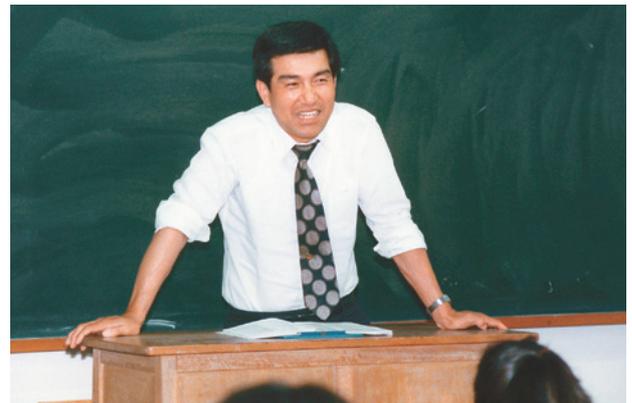
ことが克明につづられていました。教師冥利に尽きると同時に、あらためて教育の大切さを知らされたことでした。ちなみに、彼女は今も岡山の某大学及び専門学校等で働いているとのこと、嬉しい限りです。

そんなキャンパスも、今は見る影もなく一新され、素晴らしい教育環境になりました。

私はまさに本学の発展プロセスを体験することができ、いい時代に巡り合えたものです。

少子化が進み、大学を取り巻く教育環境が厳しくなる中、学生を大切に、地域社会とともに歩む四国大学は本当に素晴らしい大学だと思っています。そんな職場に半世紀もの長い間勤務することができ、佐藤一郎理事長先生・松重和美学長先生はじめ、多くの教職員の皆様方に感謝と御礼の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、多年にわたり深い愛情と慈しみをもってご指導いただいた今は亡き佐藤久子学園長先生に心から感謝申し上げ、併せて教職員皆様方のご健康・ご多幸と四国大学の益々の発展を祈念申し上げまして思い出の1ページを閉じることにいたします。





退職によせて

私が四国大学に赴任したのは昭和62年4月だったと思います。もう32年経ったわけです。だからちょうど平成とほぼ同じ期間に在職したことになります。当時はまだ四国女子大学でした。その家政学部児童学科に着任しました。私の専門は心理学なのですが、それ以外の科目も持たされました。まだ若かったので何でもやった気がします。授業も食堂も女子ばかりでちょっととまどったのを覚えています。私にとってのゼミ1期生は当時4年で、今はもう彼女らも53歳くらいのおばさんになってるはずです。それから3、4年して男女共学になりました。共学1期生の男子とは珍しかったせいかよく飲みに行きました。今は取り壊されてしまった「ラ・ハート」でビリヤードもしました。彼らも50近いおっさんになってることでしょう。写真はつい先日にした私のゼミを中心にした同窓会のときのものです。平成2年ころの卒業生です。多くは28年ぶりくらいです。彼女らもう50のおばさんでした。あのころのピチピチしたギャルの面影は跡形もなくなって、最初誰だか分かりませんでした。それぞれ

全学共通教育センター 教授 鈴木 敏昭

苦勞してきたようです。中には四国大学に子どもが来たという人もいて、あらためて年月の経過を感じました。15年くらい前のゼミ生の一部とは今もときどき飲みに行きます。あとの年代のゼミ生は記憶の中ではごちゃごちゃになっていますね。私は退職前3年ほどは児童学科を離れ、全学共通教育センターという部署に属して、いわゆる教養科目をマネジメントする仕事をしてました。退職後のいまは週2回ほど非常勤で授業に行ってます。あとは悠々自適と言いたいところですが、相変わらず忙しいです。在職中はあまりできなかった自分のしたいことが山のようにあり、それをこなすので、のんびりできません。残りの多くない「余生」こそ本人生という感じです。飲み会も相変わらずしょっちゅうあります。これを読んだ私のゼミ卒業生がいたら、遠慮せず、声かけてください。飲み会しましょう。



退職によせて

昭和54年から平成31年まで短大音楽と幼児に所属し、初等・福祉・大学児童の授業も担当しました。また、合唱・吹奏楽や顧問として箏曲・ハンドベルの研修活動等をおして、楽しく有意義な「四国大学時代」を過ごすことができました。その間支えてくださった教職員の方々をはじめお世話いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

短大20回分の在職期間でしたが、四国大学はいつも多面的な充実に向かって歩んでいることを感じながら勤務しました。私が最も変わったのは、学生との年齢差です。近年幼児教育保育科の学生からは、親しみを込めて「おぢいちゃん」と呼ばれるに至りました。一方変わらなかったのは自転車通勤でした。前回の東京五輪同様、来年も自転車で聖火を追いかけているかも知れません。

平成元年春が卒業と入学であった音楽科の卒業生から、4月と6月に同窓

短期大学部 幼児教育保育科 教授 石川 透

会へ招待されて退職を祝っていただきました。各学年の約半数や欠席者のメッセージ等も集まり、何十年のブランクが消え去ったような懐かしい話や近況報告などで盛り上がりました。卒業後の進路や生活環境は違っていても人生の大切な時期を四国大学で共に学んだ絆の強さを感じました。

四国大学の発展と積極的な同窓会活動を応援し続けたいと思います。皆様、元気で活躍をお続けください。

右側の写真は、音楽科の定期演奏会です。大学歌を作曲された故三木稔客員教授の指揮と音楽科合唱団で、三木先生の合唱曲を演奏しました。ピアノは私です。





退職に寄せて ～感謝、喜・楽、懐古～

短期大学部 幼児教育保育科 教授 河上 陽子

平成最後の年、3月末をもって四国大学を退職いたしました。48年間もの長きにわたり、師と仰ぐ上司、温かい同僚、かけがえのない学生ほか多くの皆様と過ごした日々は教師冥利に尽きるものを感じさせてくれた貴重な時間でした。数々の思い出を共有した方々に心から感謝申し上げます。そして、理解し、支えてくれた家族には“ありがとう”の気持ちを伝えたいと思います。

初等教育専攻と児童学科で16年、昭和62年からは幼児教育保育科で教員や保育者養成に携わりました。日々の授業や学科の行事等とともに活動する過程において学生から気付かされることも多々ありました。とりわけ、「平成7年度中四国保育学生研究大会」を当番大学として担当し、“絶対に成功させよう”と全学生と教員が団結した当時、事前準備から当日の運営を通し、笑顔で活動する学生の行動力をとても頼もしく感じたものです。ゼミ活動では、舞踊劇を毎年1～2作品創作し、市内大ホールでの保育演習発表会や音楽ホールでのほいくまつり、保育所や幼稚園、小学校などで発表しました。師弟関係や年齢を忘れて創作活動に励むときには情熱とエネルギー、そして時間が必要でしたが、まさに“心はひとつ”。客席から聞こえる大きな拍手の渦と溢れ出る感動の涙に全員溺れていました。この経験は、大切な心の財産となり自己を育む力を培ってくれました。

バレーボール部の顧問としては、就任2年目の昭和47年から四国大学リーグ戦に出場、50年秋季大会で初優勝しました。短大生主体のチームが四年制大学を撃破して

の勝利は大変感慨深く、この後、他大学から注目される存在となりました。限られた時間で懸命に努力する学生はもちろん、ユニークな練習メニューを考案し、試行錯誤しながら指導する私にとっても大きな自信と努力は必ず結果を生むことを改めて教えてくれた大会でした。

私は、故 佐藤久子学園長と故 井上都美子家政学部長・体育主任の教を教師の範としてきました。お二人の「社会で立派に自立できる人を育てたい」との強い思いから、学生一人ひとりを慈しみ厳しさの中にも学生を理解し思いやりをもってきめ細やかな指導をされる姿勢です。もう一つ大切にしてきたことは、学生と体育教員にとって学習と研修・研究の場である体育館です。施設の広さや設備に加え「床材は東京体育館と同じ桜材で」との井上先生の願いを佐藤久子先生は叶えてくださったそうです。体育館竣工に合わせて始まった『創作舞踊研究発表会』。各教室にあるほぼすべてのストーブを運び込み、暖をとりながら実施していたことは、今では懐かしい思い出です。学生の皆様には、先生方の熱い思いの籠った体育館で日々研鑽を積まれることを願っています。

キャンパスには、立派な学び舎が立ち並び、大きく発展しています。同窓生の皆様にとっては、出発点であり、心のふるさつである四国大学。その懐かしいキャンパスで眉山や吉野川を眺めつつ、ゆっくりと語り合いたいですね。



卒業生だより

家政学部 児童学科卒業

天田 雅子

昨年度末で退職された鈴木敏昭先生をお祝いしよう、卒業生6名が集まりました。先生から「卒業してから今までどんなことがあったのか話してよ」というご提案があり、話をさせていただきました。私は小さい頃から小学校の教師になるのが夢でした。採用は狭き門でなかなか合格通知をいただくことなくこの年齢までずっと講師をしながら勉強を続けてきました。12年前に縁あって特別支援学校に勤めることになり、大学在学中（当時は障害児教育とっていました）も勉強していましたが、やはり現場で子どもたちと向き合っていると、大学で学んだことだけでなく、目の前の子どもたちの実態に合わせた指導や支援をすることに大変やりがいを感じるようになり、特別支援学校教諭免許を取得し、特別支援学校の教員を目指すようになりました。そして一昨年やっと合格通知をいただき、現在、国府支援学校小学部で念願の教諭として勤務させていただいています。鈴木先生からは「今までで一番嬉しかったことは？」とも質問され「採用試験に合格できたことです」と即答したくらいですが、大変責任のある仕事に就いたことに改めて子どもたちの自立に向けた指導や支援ができる教師になりたいと思っていました。試験を受けている時には何度も諦めそうになりましたが、自分に恥ずかしくない人生を送りたいと思い勉強を続けてきました。「諦めなければ夢は叶う」とよく言われますが、やっと合格できた



からこそ、この言葉の意味を受け入れることができるし、本当にそのとおりだなと思います。諦めなくてよかったと心から思います。

大学在学中には今回集まった6人の仲間たちをはじめ沢山の友だちができました。バレーボール部や阿波踊りの四国女子大連にも参加し、連長もさせていただきました。そのような活動を通して、本当に充実した4年間を送ることができました。大学に進学させてくれた両親には本当に感謝しています。時間はかかりましたが正規採用され、少しは親孝行もできたのかなと思っています。

まだまだ初任2年目。採用試験に受かったときに勤めていた学校の校長先生から「年齢は重ねていますが、謙虚に頑張ってください」という言葉をいただきました。その言葉を胸に、これからも子どもたちのために精一杯務めたいと思っています。

文学部 国語国文学科書道コース卒業

田中 みさき



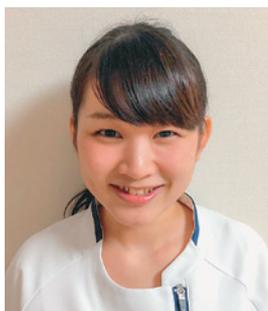
大学を卒業して30年近くが経ちました。私は大学卒業後、地元で書道塾を開き、おかげ様で多くの塾生に恵まれ、自宅で子育てをしながら生計をたてることができました。開塾当時の塾生も親となり、自分の子どもをかわせてくれています。わが子（今では孫）と同様「地域の宝」です。

最近、私の住んでいる地域でも少子化が進み、小学校の統合により、母校も廃校施設となりました。4人の子どもたちも通っていたということもあり、廃校施設の跡地活用

協議会の世話人をさせていただく中で、行政や地域の方たちと関わる機会が多くありました。そんな時、改めて、若者の減少・高齢化・地域のつながりの希薄化など、地域における課題に直面し、これからは、私も地域に何かしら恩返しをしていかなければとの思いから、現在、市議員として働かせていただいています。まだ議員としては未熟ですが、豊かな自然、歴史と文化を大切に、人に優しいまちづくりにつながるよう、市民の代弁者としてしっかり頑張りたいと思っています。

看護学部 看護学科卒業

勝田 あずみ



私は、四国大学看護学科を卒業後、徳島県内の病院で看護師として働いています。小児から高齢者まで命を預かる仕事であり、毎日看護師としての責任感を感じつつ、患者さんからの「ありがとう」の言葉や元気に退院される姿を見て、自分自身が励まされています。同じ病院には四国大学を卒業した先輩方や同期がおり、困ったことは相談できるため、本当に心強く、毎日頑張ろうと思えます。

四国大学では看護の知識や技術の習得はもちろん、人間的にも成長できた4年間でした。先生方や関わってくださった皆様には本当に感謝しています。これからも四国大学で得たものを大切にし、四国大学看護学科の卒業生らしく「優しく賢い看護師」になれるよう日々精進していきたいと思っています。

経営情報学部 経営情報学科卒業

藤村 勇志



大学生のときに始めて今でも続けているタッチラグビー。令和元年5月にマレーシアで行われたワールドカップに、メンズ30日本代表として出場してきました。結果は5位とメダルには届かず残念でしたが、間違いなく今までの人生で一番頑張れたと思います。頑張ったこれたのは、たくさんの方が応援し、支えてくださったからです。ワールドカップで学んできたことを生かし、今後の徳島でのタッチラグビーの普及、発展に携わり恩返ししていきたいと思っています。

卒業生、そして在学生の皆さん。頑張れば日本代表になれるチャンスがあるかもしれません！ぜひ一緒にやりましょう！



生活科学部 管理栄養士養成課程卒業

横山 佳織

私は、現在、香川大学医学部附属病院臨床栄養部で管理栄養士として働いています。

病院の管理栄養士の業務は、直接患者さんに対応する栄養指導や嗜好調査、NST業務、また食事に関する給食業務、災害時の備蓄品の管理等幅広くあり、私もまだまだ勉強中です。大学時代の4年間の勉強、実習、校外学習等で学んだことは今でも業務に生かすことができいております。サークル活動や友人との思い出づくりなど今しかできない経験も大事です。大学生活を楽しんでください。



短期大学部 生活科学科食物栄養専攻卒業

幸崎 祐子



食物栄養での学生時代を振り返ると、毎日朝から夕方まで忙しいながらも、自分の学びたい事をひたすら学ぶ事が出来た本当に楽しい日々でした。気の合う友人にも沢山出会う事が出来、結婚や出産と環境が変化しても交流が続いている事を嬉しく思っています。

卒業後は事務職に就いておりましたが、現在は四国大学すぐ側の「幸崎けやき堂」というお店で、夫と夫の両親と一緒に餅屋を営んでおります。材料にもこだわり、添加物や防腐剤を使わない「美味しくて・安心・安全」な商品を製造・販売しております。お餅以外にもお赤飯や柏餅等の和菓子もご用意しております。お近くを通られました際には、是非お立ち寄りくださいませ。

短期大学部 幼児教育保育科卒業

三木 香織



私は、幼児教育保育科を卒業し、現在四国大学附属西富田こども園で働いています。仕事では、まず子どもの安全を第一に考え毎日を過ごしています。その中で、様々な体験ができるよう工夫をしたり、日常の繰り返しを大切に行うことで子どもたちの成長に繋がられればと思っています。

可愛い笑顔に癒され、子どもならではの発見や発想力に楽しませてもらっています。これからも資質向上を目指し子どもとともに成長していきたいと思っています。



支部だより

徳島支部 支部長 土川 弘子

会員の皆様お元気ですか。昨年の総会はルネッサンスリゾートナルトにおいて支部総会を行いました。23名の同窓生のみなさんと和やかなお喋りの中、総会を行うことができました。ありがとうございました。令和元年の支部総会は秋の京都を訪ねての研修を兼ねた総会を計画しています。お忙しいとは思いますが、1人での参加もよし、また同窓生の仲間を誘っての参加も楽しいです。ぜひご参加ください。お待ちしております。



令和元年度 徳島支部総会と秋の京都研修旅行

日時 令和元年11月17日(日)
四国大学8時15分出発 19時解散予定
場所 京都御所・二条城(昼食は湯豆腐で)
内容 総会及び日帰り研修旅行
参加費 5,000円、年会費は各自でお振込みください。
※出欠は11月5日(火)まで
連絡先 土川弘子 TEL:090-5140-3232

愛媛支部 支部長 浅尾 美津子

秋涼の候、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。昨年度は、東温市の「利楽」で総会を行い、「坊ちゃん劇場」の「よろこびのうた」を観劇しました。初めての参加の方々もおられ、有意義な1日となりました。また、年会費の納入にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。今年度は、南予の西予市で開催いたしますので、お問い合わせを越してください。



令和元年度 愛媛支部総会

日時 11月23日(土)10時30分～15時/場所 愛媛県歴史文化博物館/内容 西予市宇和町の町並み散策/会費 3,000円と年会費 1,000円/連絡先 浅尾美津子(吉田町南君 466) TEL:0895-54-0459 ※ご参加いただきます方には、後日、詳しい日程表をお送りいたします。皆様からの年会費(1,000円)によって、愛媛支部の活動が成り立っています。今年度もご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、年会費の振込先は、四国大学同窓会会報をご覧ください。(電話でお問い合わせいただいても結構です。)

関東支部 支部長 佐竹 志津

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年の大学での同窓会総会、芳藍祭に2名で参加しました。また、12月には5名で報告会を行いました。

今年度は、関東支部同窓会を明治記念館にて開催いたします。食事の後は、庭を散策したり、記念写真を撮ったりと、ゆったりと楽しいひとときを過ごしたいと思っております。是非ご参加をお待ちしています。



令和元年度 関東支部総会

日時 令和元年10月26日(土)12時～/場所 明治記念館(中国料理)竹游林/参加費 3,000円(年会費未納の方は、宜しければ1,000円)
連絡先 佐竹志津 TEL:090-1115-6497/締切 令和元年10月12日(土)

広島支部 支部長 佐古 静栄

令和元年7月27日(土)、福山で役員打ち合わせを行いました。来年度の支部総会開催に向けて、四国大学から支部連絡委員のお二方が来てくれ、総会に向けての手順など詳しく聞かせていただきました。

来年度は総会を開催したいと思っております。



山口支部 支部長 一木 美津子

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、村上前支部長の後任を引き受けることになりました。未熟者ですが支部の皆様のお役に立てよう頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

昨年度の支部総会は少人数の集まりでしたが、元気で可愛いお子様も同伴され、和やかな雰囲気の中で親睦を図ることができました。本年度の総会を下記のとおり開催いたしますので、多数のご参加を心よりお待ちしております。



令和元年度 山口支部総会

日時 令和元年12月8日(日)11時～15時/場所「セントコア山口」山口市湯田温泉3-2-7 TEL:083-922-0811/参加費 3,000円(昼食代)温泉に入浴もできます。※支部会費未納の方は、当日年会費1,000円お支払いください。※お子様同伴の昼食代は、1名あたり1,000円となります。/連絡先 一木美津子 TEL:080-5617-0118/締切 令和元年11月28日(木)

香川支部 支部長 藤根 直身

万葉集に「秋萩に置きたる露の風吹きて」が詠まれています。旧暦と新暦の違いはありますが、随分自然環境が違ってきたこの頃です。

30年度の香川支部同窓会は、宇多津町セント・カテリーナで行われました。33名の方がお越しください楽しいひとときを過ごしました。その中に昭和38年度に卒業された方がおられ、現理事長佐藤一郎先生の話やその頃の大学の様子を話され、四国大学の新進気鋭に至る努力を垣間見ることができました。また、ご年配の参加者からは、自力で生きる工夫をしている力強い話を聞くことができ、これからの香川支部として、心強い拠り所をいただきました。

本年度は、今の大学の様子を見たいと、参加者からの切なる希望で、芳藍祭に合わせて支部同窓会を大学で行うことにしました。

この会報でご覧になられた方々や案内状が届いた方々には是非参加していただき、「温故知新」昔の学生時代を思い出したり、今の四国大学の様子をご覧になり、様々な思いに浸りませんか。多数の方のご参加をお待ちしております。



令和元年度 香川支部総会

日時 令和元年11月10日(日)・10時 大学同窓会総会に参加・11時30分 香川支部同窓会・12時 芳藍祭参加(自由行動)・15時30分解散

中部支部 支部長 河上 多津子

秋色、日に日に濃くなって、快適な風に吹かれる今日この頃、同窓生の皆様お変わりはありませんか。

昨年度の中部支部総会には大学から同窓会長の松永満佐子先生と中部支部担当の関泰枝さんにご出席いただき、総会に華を添えていただきました。

懇親会では、大学を卒業後、数十年ぶりに再会した人もおり、当手を思い出しながら会話も弾みました。また1年ぶりの再会を喜び合い、近況報告をしたり学生時代を思い出し、楽しい時を過ごすことができました。

みなさんの要望もあり、今年度も河上邸にて支部同窓会を下記のように開催いたします。年に一度、元気な顔を見せ、近況を報告しあったり、思い出話に花を咲かせたりと楽しいひとときを過ごしませんか。是非お出かけくださいますようお願いいたします。



令和元年度 中部支部総会

日時 令和元年10月19日(土)12時～／場所 愛知県津島市下切町高橋34(河上邸)／会費 2,000円(食事代・写真代など)／連絡先 河上多津子 TEL:0567-24-0354／締切 令和元年9月26日(木)

高知支部

支部長 岡本 ひとみ

支部同窓会を開催することができず、皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ございません。今年度は時期を変更して開催させていただきますので、あしからずご了承くださいませ。案内状の郵送は致しませんので、電話にてお申し込みください。皆様お誘い合わせのうえ参加してくださいますようお願い申し上げます。

令和元年度 高知支部総会

日時 令和元年10月20日(日) 11時～

場所 高知会館

参加費 3,000円(年会費込み)

連絡先 岡本ひとみ

TEL:090-7785-4562

宗石百合子

TEL:090-1004-0561

締切 令和元年10月5日(土)

北九州支部

支部長 溝口 昌子

北九州支部の会員の皆様には、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度から北九州支部長を務めることになりました溝口昌子と申します。昨年は副支部長として安部利恵支部長のサポートをしていました。毎年少人数ながらも楽しいひとときを過ごしていました。これからは遠方で、参加が難しい方々もいらっしゃいます。少しでも多くの会員の皆様に参加できますように各県での開催を考えております。ご多忙のことと存じますが、下記の通り北九州支部総会を開催いたします。多数のご参加を心よりお待ちしております。

令和元年度 北九州支部総会

日時 令和元年11月24日(日)11時30分～場所「グランデはがくれ」佐賀市天神2丁目1-36 TEL:0952-25-2212／参加費 3,500円／追伸 短い時間ですが、佐賀の魅力を満喫していただけるように幹事団で計画しております。

南九州支部

支部長 徳永 由紀子

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度の支部総会は、初めて鹿児島での開催となりました。大学からもご出席いただき、少人数ながら、郷里の話や学生時代の話にと和気あいあいと楽しいひとときを過ごすことができました。

さて、今年度の支部総会を下記にて開催いたしますので、多数のご参加を心よりお待ちしております。ご参加いただける方は、11月30日(土)までにご連絡くださいますようお願いいたします。

令和元年度 南九州支部総会

日時 令和元年12月7日(土) 11時30分～

場所 西鉄ソラリマホテル鹿児島

内容 支部総会・近況報告

連絡先 徳永由紀子

各支部会費払込先一覧

令和元年9月1日現在

支部名	支部長	郵便局から払い込む場合 口座番号等	銀行から払い込む場合 店名・口座番号等	加入者名	年会費
徳島支部	土川 弘子	01670-2-14348	店名：一六九 店番号：169 預金種目：当座預金 口座番号：0014348	四大徳島支部	1,000円
高知支部	岡本ひとみ	01600-3-5587	店名：一六九 店番号：169 預金種目：当座預金 口座番号：0005587	四国大学同窓会高知支部	500円
香川支部	藤根 直身	01690-8-13861	店名：一六九 店番号：169 預金種目：当座預金 口座番号：0013861	四国大学同窓会香川支部	1,000円
愛媛支部	浅尾美津子	01660-8-14444	店名：一六九 店番号：169 預金種目：当座預金 口座番号：0014444	四国大学同窓会愛媛支部	1,000円
山口支部	一木美津子	15570-14677061	店名：五五八 店番号：558 預金種目：普通預金 口座番号：1467706	四国大学同窓会山口支部	1,000円
鳥取・島根支部	中嶋 滋	15290-11429791	店名：五二八 店番号：528 預金種目：普通預金 口座番号：1142979	四国大学同窓会鳥取・島根支部	1,000円
岡山支部	藤井 美保	01250-8-1569	店名：一二九 店番号：129 預金種目：当座預金 口座番号：0001569	四国大学同窓会岡山支部	500円
近畿支部	牛田 洋子	00980-8-41814	店名：〇九九 店番号：099 預金種目：当座預金 口座番号：0041814	四国大学・同短期大学部 同窓会近畿支部	1,000円
広島支部	佐古 静栄	01370-6-106009		四国大学同窓会広島支部	500円
沖縄支部	伊礼 義明	02050-7-34130	店名：二〇九 店番号：209 預金種目：当座預金 口座番号：0034130	四国大学同窓会沖縄支部	500円
関東支部	佐竹 志津	00150-6-611036	店名：〇一九 店番号：019 預金種目：当座預金 口座番号：0611036	四国大学同窓会関東支部	1,000円
中部支部	河上多津子		店名：三一八 店番号：218 預金種目：普通預金 口座番号：0702591	四国大学同窓会中部支部	500円
東北支部	大橋左恵子	18240-6660691	店名：八二八 店番号：828 預金種目：普通預金 口座番号：0666069	四国大学同窓会東北支部 大橋左恵子	1,000円
北九州支部	溝口 昌子	01700-3-171312		四国大学同窓会福岡支部	1,000円
南九州支部	徳永由紀子	7840-32385941	店名：七八八 店番号：788 預金種目：普通預金 口座番号：3238594	四国大学同窓会南九州支部	1,000円

☆支部会費の払い込みは、従来の郵便局に加えて、銀行からの払い込み方法が可能となりました。右頁（記入例）を参考にしてください。

郵便局は備え付けの振替用紙でお払い込みください。

☆ご本人又はご友人の氏名、住所等に変更があれば、各支部長又は同窓会名簿作成委員会までご一報ください。（16頁参照）

個人情報につきましては、同窓会員の把握及び会報発送以外には使用いたしません。

記入例

I 郵便局からの払い込みの場合

払込人欄の郵便番号・住所・氏名及び通信欄にはご本人の卒業年月、学科・専攻・コース名、氏名（旧姓）を必ずお書きください。

なお、学科名等については下表にある数字（学科コード）も必ずお書きください。

元 号 卒 業 年 ー 卒 業 月 ー 学 科 名

（S=昭和・H=平成）ー（03or09or10）ー（学科コード）※卒業月が3月、9月の場合は、03、09と記載してください。

*例：昭和63年10月卒業 国語国文学科国文学コースの卒業生は

S 63 - 10 - 11

*例：平成8年3月卒業 児童教育科幼児教育専攻の卒業生は

H 08 - 03 - 71

*例：平成12年 9月卒業 文科国文専攻の卒業生は

H 12 - 09 - 50

II 銀行からの払い込みの場合

お手数ですが振り込み用紙のご依頼人氏名の後に、上記Iの例と同様に数字をお書きください。

なお、氏名が卒業時と異なる場合は旧姓を（ ）内にお書きください。

*例：平成26年3月卒業 幼児教育保育科の卒業生は

振込人氏名 山田 花子 H 26 - 03 - 72 (四国)

院・学部等	学科コード	四国大学大学院・四国女子大学・四国大学 (学科・専攻・コース名)	学 科 コード	徳島家政短期大学・四国女子短期大学・ 四国女子大学短期大学部・四国大学短期大学部 (学科・専攻・コース名)		
大学院	03	経営情報学研究科 経営情報学専攻 経営情報学研究科 経営情報学専攻博士前期課程	50	文科(国語部・国語専攻・国文専攻)		
	05	経営情報学研究科 経営情報学専攻博士後期課程		文科(英語部・英語専攻・英文専攻)		
	01	文学研究科 日本文学・書道文化専攻		55	ビジネス・コミュニケーション科	
	02	文学研究科 英語文化専攻 文学研究科 国際文化専攻		60	家政科被服部 家政科家政専攻(被服コース・服飾コース) 生活科学科生活科学専攻生活科学コース	
	06	人間生活科学研究科 人間生活科学専攻				
	07	看護学研究科 看護学専攻		61	家政科被服食物部 家政科家政専攻被服食物コース	
	08	生活科学専攻科 養護保健学専攻			62	家政科養護保健部 家政科家政専攻養護保健コース 家政科生活科学専攻養護保健コース 生活科学科生活科学専攻養護保健コース
09	生活科学専攻科 児童学専攻	短期大学部	63	家政科(食物部・栄養部・食物栄養専攻) 生活科学科食物栄養専攻・人間健康科食物栄養専攻		
大 学	文 学 部			11	文学部 国語国文学科国文学コース	64
			12	文学部 国語国文学科書道コース	66	
			13	文学部 英語英米文学科		67
			15	文学部 日本文学科	70	
			17	文学部 書道文化学科	71	児童教育科(保育部・幼児教育専攻)
		18	文学部 英語文化学科 文学部 国際文化学科	72	幼児教育科・幼児教育保育科	
大 学	家 政 学 部 生 活 科 学 部	21	家政学部 家政学科(服飾コース・被服学コース) 家政学部 被服学科 生活科学部 生活科学科(被服学コース・生活環境コース)	80	音楽科	
		22	家政学部 家政学科養護保健コース 生活科学部 生活科学科養護保健コース			
		23	家政学部 児童学科 生活科学部 児童学科			
		25	家政学部 管理栄養士養成課程 生活科学部 管理栄養士養成課程			
		26	生活科学部 生活科学科			
		27	生活科学部 養護保健学科			
		経 営 情 報 学 部	31	経営情報学部 経営情報学科		
35	経営情報学部 経営学科					
39	経営情報学部 情報学科					
37	経営情報学部 情報ビジネス学科 経営情報学部 メディア情報学科					
看護学部	20	看護学科				



しごぼん
四国大学
マスコットキャラクター



あいたん
四国大学短期大学部
マスコットキャラクター

Information

同窓会本部

本部報告

同窓会では、平成25年度から課外活動等で活躍した在学生を奨励する「学生活動奨励金制度」及び26年度から資格取得を支援する「高大接続キャリアアップ支援プログラム」を四国大学と連携のもと実施しております。いづれも在学生の教育研究活動に関する支援を行い母校の発展に寄与することを目的とした取り組みです。

また、27年度から同窓生を対象とした取り組みとして「活性化補助費」を設け、支部活動及び同窓生の活動の応援をしております。同窓会の活性化を目的に始まった取り組みであり、本年度で5年目を迎えます。

同窓会の各取り組みについてのご意見等がございましたら、本部までお知らせください。

令和元年度 11月10日(日)には、同窓会総会が開催されます。会員の皆様のご出席をお待ちしております。

総会案内

- 開催日時 令和元年11月10日(日) 10時～
- 場 所 四国大学共通講義棟 R102 講義室
- 議 案 会計報告/会務報告/その他



第33回 同窓会講習会

Let's enjoy♪ YOGA

- 開催日時 令和元年9月7日(土) 10時～12時
- 場 所 四国大学スポーツ健康館 2階 アリーナ
- 講 師 ヨガ講師 細井 聖子氏
- 参加費 無料
- 定 員 30名 (希望者多数の場合は先着順)



[申し込み先]

〒771-1192 徳島市応神町古川
四国大学同窓会研修活動委員会 宛
FAX: 088-665-8037 e-mail: suaa@shikoku-u.ac.jp

住所変更等について

同窓会では、卒業生の皆様に毎年1回会報を送付させていただいておりますが、引越し・転勤・ご結婚等により、住所不明となっている方がいらっしゃいます。つきましては、ご住所やお名前に変更がございましたら、必要事項記載の上、下記までご連絡をいただけますようお願いいたします。

◆ 住所変更等のご連絡・お問い合せ先 ◆

記載事項 ①卒業年度 ②卒業学科・専攻・コース ③卒業時の氏名 ④現氏名
⑤現住所 ⑥ TEL ⑦勤務先 等 変更内容を記載
〒771-1192 徳島市応神町古川 四国大学同窓会名簿作成委員会
TEL:088-665-9900 FAX:088-665-8037 E-mail:suaa@shikoku-u.ac.jp

◆ 個人情報取扱いについて ◆

本会が保有する会員の個人情報については、個人情報保護法及びその他の規程の定めに従い、適切に取り扱います。
四国大学同窓会会長 松永満佐子

平成30年度 収支決算書

自:平成30年4月1日
至:平成31年3月31日

収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
同窓会入会金	1,542,000	1,610,000	△ 68,000	2,000円×805名
同 窓 会 費	6,420,000	7,180,000	△ 760,000	10,000円×718名
受取利息配当金	15,000	5,040	9,960	
寄 付 金 収 入	700,000	430,000	270,000	高大接続プログラム
雑 収 入	0	5,000	△ 5,000	講習会参加費
前年度繰越金	21,852,256	21,852,256	0	定額金12,000,000円を含む
合 計	30,529,256	31,082,296	△ 553,040	

支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
慶 弔 費	250,000	240,412	9,588	義葬費控除税控
印 刷 費	1,410,000	1,242,583	167,417	会報・同窓会案内印刷他
通 信 費	2,332,000	2,315,971	16,029	会報送料 切手 他
旅 費	880,000	755,730	124,270	支那懇話会出席の旅費
総 会 費	120,000	86,400	33,600	総会総会参加費
会 議 費	363,000	337,065	25,935	委員会総会費 在学生懇話会総会費
支部長会費	170,000	126,265	43,735	評議委員総会費
支部補助費	150,000	132,592	17,408	支部長手当
入学記念品費	700,000	698,760	1,240	A4フリーケース
卒業記念品費	630,000	657,700	△ 27,700	USBメモリー (8GB×747個)他
消 耗 品 費	243,000	263,521	△ 20,521	芳藍祭展示用パネル 他
人 件 費	30,000	20,000	10,000	講習会講師謝礼
活動支援費	1,800,000	1,596,224	203,776	クラブファイル 芳藍祭賞金他
活性化補助費	1,500,000	205,172	1,294,828	支部補助費 学科専攻補助費
広 報 費	50,000	0	50,000	
雑 費	140,000	104,000	36,000	会報寄贈者謝礼 ホームページ管理費
予 備 費	50,000	0	50,000	
次年度繰越金	19,711,256	22,299,901	△ 2,588,645	
合 計	30,529,256	31,082,296	△ 553,040	

*費目間の流用を認める。

※建設資金積立金	54,407,526
※名簿積立金	13,248,234

第59回 芳藍祭

大学祭企画委員会では、同窓生と在学生の親睦の機会として、また、同窓会のPR活動の一環として、毎年芳藍祭に参加し様々な企画を行っています。

本年度は、各方面で活躍する卒業生の紹介や教職員の今昔アルバムを観ながら、幅広い世代の方々が楽しく語り合える憩いのスペースを提供できるよう計画しています。小さなお子様連れも大歓迎です。

当日は、毎年好評のオリジナル煎餅もご用意しておりますので、皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

- 開催日時 令和元年11月8日(金)～11月10日(日)

- 場 所 四国大学 中央棟 1階ロビー

